

令和3年度富谷市立成田東小学校 学校関係者評価書

令和4年2月14日
学校関係者評価委員会
氏名
氏名
氏名
氏名
氏名

1 総評

(1) 本校の今年度の重点目標とその取組状況について

- ・今年度もコロナ禍の教育活動となったが、中でも工夫しながら様々な取組を進めていたことに、学校の頑張りを感じた。保護者、児童アンケート、教師の自己評価からも目標はおおむね達成できたと思える。
- ・子供たちが落ち着いて生活している様子がうかがえる。学習参観では、学習へ取り組む姿勢もよくなっていると感じた。
- ・課題となっている「挨拶」については、改善傾向にあるが、学年が上がるにつれ、自主的な挨拶とは言えない。今後も家庭と連携した取組が必要である。

(2) 成果について

- ・学年部ごとのスポーツレクリエーション大会やせせらぎ発表会、分散による学習参観など、コロナ禍において、できる範囲で子供たちの様子を保護者に見ていただけたことは、よかった。
- ・学校のホームページに学校だよりを掲載したり活動の様子をまとめて知らせたりしたことで、子供たちの活動の様子が分かり、各家庭での話題になることもあった。
- ・学習指導においては、タブレット端末を使った学習に慣れ、新たな学びのスタイルが身に付いている。

(3) 課題や改善を要する事項について

- ・情報を発信するだけでなく、意見を求めるなど、双方向でのやり取りが行えるとよい。また、ホームページについては保護者などへ幅広く知らせていくことが必要である。
- ・保護者の困り感を学校がいつでも受け入れ、それをつなぐ役割を果たすことが学校に求められる。また、虐待等についての情報収集にも努め、子供たちの安心安全を保障することを意識してほしい。
- ・いざというときに備え、不審者対応など様々な事例を踏まえた研修を積み重ねてほしい。事案が起きた後の対処より、事前の備えが何よりも大切である。
- ・運動量の確保、基本的な生活習慣については、環境が大切である。関係機関や保護者と連携した取組を一層工夫していくとよい。

2 各領域等の評価

領域	評価の観点	評価	意見・改善案等
学校運営	1 開かれた学校づくり	A	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練を実施するに当たっては、地域と協働での取組を工夫していくとよい。また、成田地区自主防災マニュアルと学校の危機管理マニュアルとの突き合わせを今後確実に進めていく必要がある。いざというときの動きを地域や保護者と確認してほしい。 ・地域の「ワンワンパトロール」との連携を図ることで、子供たちの見守りが充実する。学校メールに登録していただくなど、手立てを工夫していくとよい。
	2 魅力ある学校	B	
	3 施設・設備	B	
	4 安全管理	B	
	5 教職員の資質の向上	B	
	6 特色ある教育活動等	B	
教育課程	1 確かな学力	B	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレット端末の活用に当たっては、一人一人のつまずきに応じた指導が必要となる。 ・発表の場が少なくなっているのではないかと思える。タブレット端末を活用した発表の仕方を工夫していくとよい。 ・学校と家庭が、それぞれの役割分担を明確にし、迅速な対応を目指してほしい。 ・コロナが収束し、せせらぎコンサートで子供たちや地域の方々の歌声を聞くことができる日が待ち遠しい。
	2 豊かな心身	B	
	3 特別活動	A	
	4 生徒指導・教育相談	B	
	5 特色ある教育活動等	B	
課題教育	1 環境教育	B	<ul style="list-style-type: none"> ・給食の残食が多いという実態を踏まえ、食に関する指導を充実させることはもとより、家庭への啓発も続けていく必要がある。 ・早寝早起きのためには、よい睡眠が必要である。家庭と連携し、基本的な生活習慣がしっかり身に付くような働き掛けを今後も継続してほしい。 ・障害を持っている子供への対応について、十分に理解できていない保護者がいる。どのような機関とつがるとよいのかを含め、学校がそのサポートをしていくとよい。 ・他校でも取り組んでいる道路を横断する際の挨拶を身に付けてほしい。また、手を挙げて道路を横断することは、これから横断するという意思表示になるので指導が必要である。
	2 情報教育	B	
	3 特別支援教育	B	
	4 図書館教育	B	
	5 健康教育	B	
	6 特色ある教育活動等	B	
地域との連携について		C	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭と地域との連携を強めるためにも、フリートークをする場があるのとよいではないか。学校が中心となり、PTAと一緒に手立てを工夫していくとよい。 ・コロナ禍のため、地域との連携は難しかったが、防災、防犯だけでなく、遊びや情報の面からもつながりを強めてほしい。
いじめ問題への取り組み		B	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ対策委員会をはじめとしたいじめ防止に向けた学校の取組に地域や保護者も交えながら対応を続けてほしい。